

2020年度 ANNUAL REPORT



公益社団法人 日本フィランソロピー協会

目次

2020 年度 アニュアルレポート発行にあたって	3
はじめに	4
▶ 出版事業	
機関誌『フィランソロピー』	6
フィランソロピー始動 30 周年記念『共感革命』出版	7
▶ 研修事業	
定例セミナー	8
企業による『NPO 緊急支援に向けたニーズ学習会』	9
▶ 企業の CSR 支援事業	
従業員のボランティア・マッチングプログラム	
(1) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」	10
(2) 個別企業向けボランティアのコーディネート	12
従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」	
(1) 非営利団体への寄付	13
(2) 奨学金プログラム（個人向け）	15
個別企業の社会貢献活動支援	16
企業から NPO への物品寄贈「あげます・もらいます」	17
助成支援	18
調査・報告書	18
顕彰プログラム「企業フィランソロピー大賞」	19
▶ 共生社会づくり事業	
郡山市農福連携推進モデル構築事業（福島県郡山市からの受託）	20
▶ 次世代育成支援事業	
チャリティー・ムービー・プロジェクト	21
▶ 個人の社会貢献活動推進事業	
誕生日寄付	22
SDGs 時代のソーシャルリーダーシップ研修	24
フィランソロピー名刺	25
資料編	
寄付先 NPO（2020 年度 実績）	26
財務データ	28
会員数／役員	30

注：本文における企業名は、すべて 50 音順にて記載させていただきました。

各種セミナーやイベント等の開催実績に記載の個人の所属および役職は、特に注記のない限り開催時のものです。

2020 年度アニュアルレポート発行にあたって

1991 年にフィランソロピー推進を始めて本年 3 月で 30 年が経ちました。これまで支えていただいた多くの皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

2020 年度は、折しも、VUCA の時代を実証するようにコロナ禍が襲い、地球環境といのちの重さをさらに突き付けられた年度となりました。また、各企業におかれましても、脱炭素社会実現に向けて、ESG 投資、SDGs 経営への関心が一気に高まり、持続可能な社会変革のため、企業の存立基盤に立ち返り、本業を通じ、また、フィランソロピー推進においても、待ったなしの対応を迫られておられると思います。

そうした中、当協会といたしましても、30 年の節目に当たり、当協会の使命であります「健全な民主主義社会創造」に向けて、個人の社会参加を基底に据えながらも、ドラスティックな変革を求められている企業経営の在り方、社会の仕組みづくりについても視野を広げつつ、個人と組織・個人と社会の関係のあり方をフィランソロピーという視点で捉え、覚悟をもって次のステージに進んでいかなければ、と心引き締めております。

昨今、民主主義社会の危機が、世界レベルで指摘されていますが、経験則での未来予測が出来ず、正解が見えない中、これからは、世代や境遇などの属性を超えた人間としての『共感』を軸に、社会づくりを進めるときが来た、と実感します。

機関誌『フィランソロピー』は、1992 年 1 月創刊ですが、創刊後すぐに、「子どもたちが危ない」という特集を組みました。あれから 30 年経ち、虐待、引きこもりの増加など、「子どもたちはますます危ない」状況に陥っています。それは、警鐘に気づきつつも、経済優先における効率追求の在り方を根本的に変えてこなかった大人社会の鏡として捉えるべきだと思っています。SDGs への関心が高まる一方で、こうした社会の劣化の現実をしっかり見つけ、SDGs の根幹をなす「誰も取り残されない社会づくり」から目をそらすずに、事業を展開する重要性を改めて心に刻んでおります。

コロナ禍で、コミュニケーションツールもオンライン化し、2020 年度の事業も、新たな可能性を探りながら、課題発見・課題解決につながるきっかけづくり、つながりづくりに取り組んでまいりました。今後も、多様な人々の社会参画を図り、セクター間をつなぐコーディネーターとしての役割を果たすべく、事業を進めてまいります。

今後とも、よろしくご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2021 年 8 月 1 日

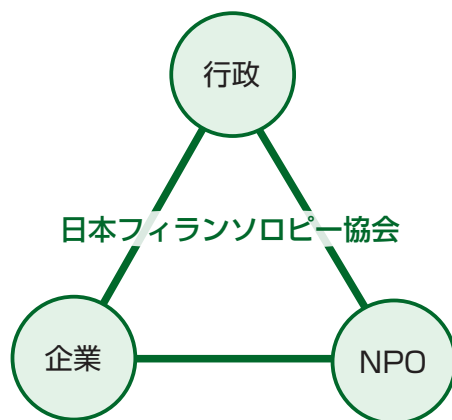
公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長 高橋 陽子

これまでのあゆみ

- 1960年 第一次安保闘争を機に、民主的社會を実現するためには、公正な世論を形成することが重要との考えから、ジャーナリスト・学者などの有識者を中心に、不偏不党の立場で自由闊達な議論をする場を提供する勉強会を開始。
- 1962年 内閣総理大臣より公益法人としての認可を受ける。
- 1990年 **フィランソロピー元年**（※1）
- 1991年 **「企業市民室」創設、企業フィランソロピー推進事業を開始**
フィランソロピーを民主主義の原点と据え、企業フィランソロピーを通じて、個人の社会参加推進につなげることを事業の柱として新たに出発する。
企業の担当者向けセミナーを開始。
- 1992年 機関誌『月刊フィランソロピー』（現『フィランソロピー』）創刊
- 1994年 **「日本フィランソロピー協会」に改称**
- 1995年 **阪神・淡路大震災発災・ボランティア元年**（※2）
神戸市長田区室内小学校の避難所の運営
- 1998年 知的障がい者のアートと暮らし、記録映画『まひるのほし』製作
顕彰事業「まちかどのフィランソロピスト賞」創設
- 2000年 視覚障がい者、高齢者などへの音訳サービス「声の花束」開始
- 2003年 **CSR元年**（※3）
顕彰事業「企業フィランソロピー大賞」創設
個人の社会貢献活動推進「フィランソロピー名刺」開始
- 2005年 「まちかどのフィランソロピスト賞」に青少年部門創設
- 2007年 寄付マッチング「フィランソロピーバンク」創設
文化庁主催「アート展・障がいのある人による作品たち」開催
- 2009年 **新公益法人制度の下、公益社団法人として認定**
「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」開始
- 2010年 企業を中心とした勉強会「Stone Soup Club」発足
国際標準化機構がISO26000制定
- 2011年 **東日本大震災発災**
「学校の寄付育支援活動」開始
「復興応援 キリン絆プロジェクト」開始
「復興応援 チャリティー・リレーマラソン」開始
- 2013年 「関西セミナー」開始
- 2014年 「サントリー東北サンさんプロジェクト チャレンジド・スポーツ支援事業」開始
- 2015年 **国連「持続可能な開発目標（SDGs）」制定**
ボランティア・マッチングサイト
「ボランティアウェブ」開始
- 2016年 **熊本地震発災**
「子どもの貧困を考える勉強会」開始
- 2018年 **平成30年7月豪雨発災**
- 2019年 個人の寄付活動推進「誕生日寄付」開始
「郡山市農福連携推進モデル構築事業」（福島県）開始
- 2021年 フィランソロピー始動30周年記念『共感革命』出版
(2021年3月)

はじめに

わたしたちは、
“個人フィランソロピー”を、
健全な民主主義社会を
創出するための原点と考え、
企業の従業員をはじめ、
ステークホルダーである
一人ひとりの個人が、
**「より良い社会創造のために
自ら考え、助けあいながら、
課題解決に向けて行動する」**
ことを推進します。



行政や企業セクターとは独立したカウンターパートとしての非営利セクターの成長のため、個人の参加を促しバランスの取れた社会の実現を目指します。

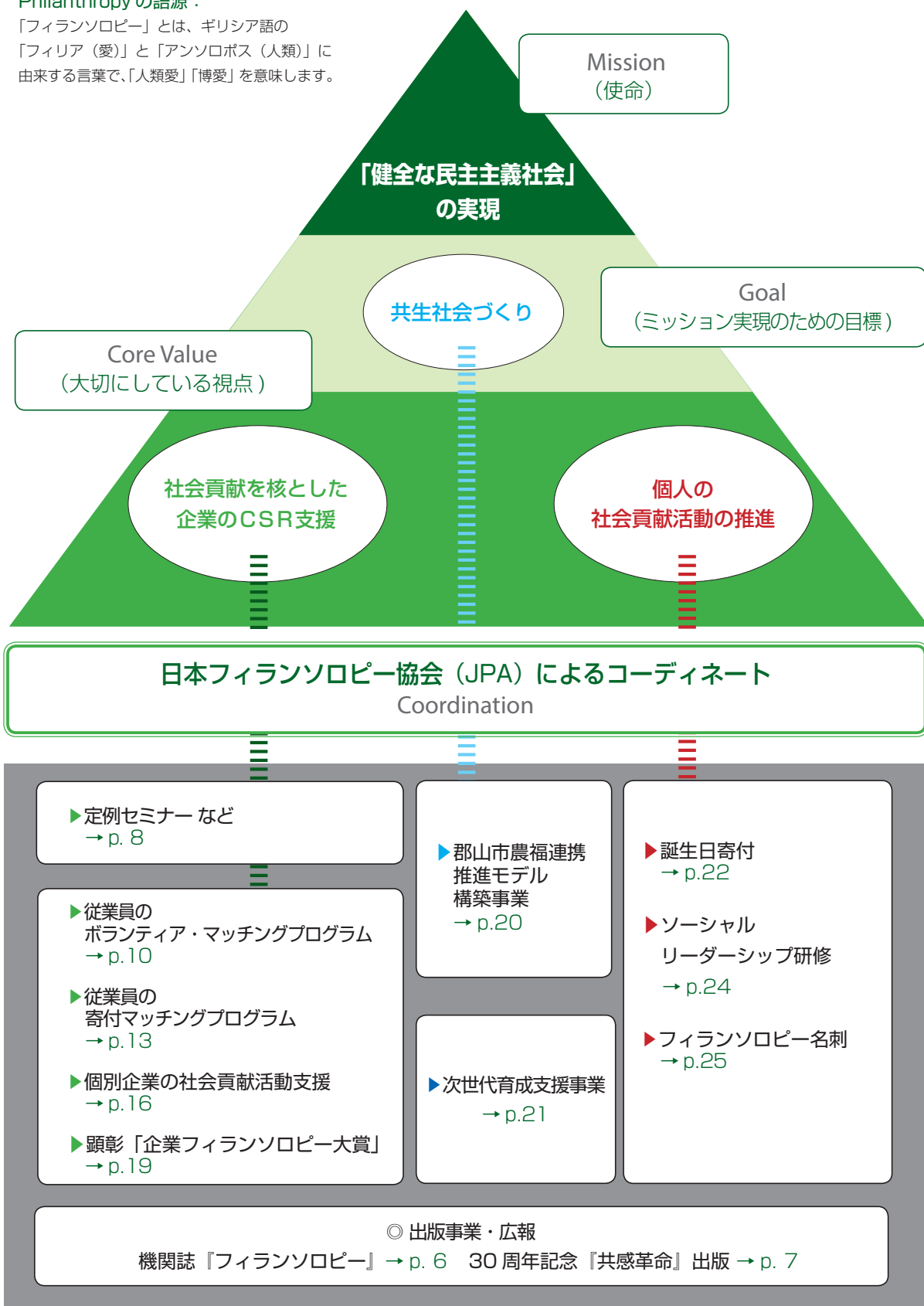
（※1）1980年代後半から、企業フィランソロピーやメセナ等、企業の社会貢献活動が盛んになり、1990年、経済団体連合会の「1%クラブ」「企業メセナ協議会」「大阪コミュニティ財団」が発足、「フィランソロピー元年」と呼ばれた。

（※2）数多くのボランティアが活躍。特に、社会人や学生がボランティアとして参加し「ボランティア元年」と呼ばれた。

（※3）ナイキの児童労働問題、エンロン事件などを象徴として、コーポレートガバナンス時代に入った。多くの企業で、CSR担当部署が整備された。

Philanthropy の語源：

「フィランソロピー」とは、ギリシア語の
「フィリア（愛）」と「アンソロpos（人類）」に
由来する言葉で、「人類愛」「博愛」を意味します。



出版事業

フィランソロピーを拡げる啓発活動として
機関誌・書籍を発行しています。

機関誌『フィランソロピー』

1992 年創刊

機関誌『フィランソロピー』（隔月発行）では、社会課題を特集として企画。
企業の先進事例や個人・NPO の活動を紹介しています。

表紙には、障がいのある方々の多彩な作品を掲載しています。

※フィランソロピー名刺に一部作品をご利用いただけます。（詳細は p.25）



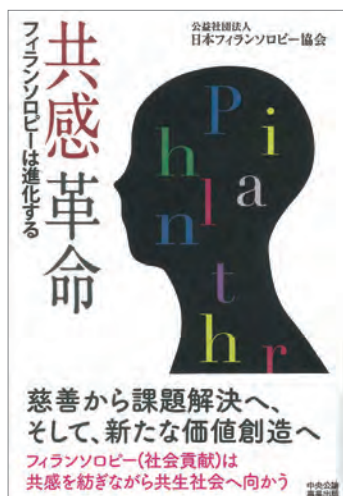
ホームページで、巻頭インタビュー全文をご覧いただけます。



2020 年度 発行月 (No.)	特集テーマ／巻頭インタビュー
4 月号 (No.397)	特集：サーキュラー・エコノミーが拓く未来 巻頭：地域という小さな単位から負の循環を断ち切る ごみの削減と循環型社会の推進 坂野 晶さん（特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー 理事長）
6 月号 (No.398)	特集：コロナ禍の中で光を与えるメディアの役割 巻頭挨拶：「Dare Care Share」で未来を拓く 高橋 陽子（公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長）
8 月号 (No.399)	特集：「現実社会」と「デジタル世界」がつながることで新しい未来を拓く 巻頭対談：一人ひとりを幸せにするロボットで人と人の優しい関係を築く 大澤 正彦さん（日本大学 文理学部 情報科学科 助教） 御代田 太一さん（社会福祉法人 GLOW 救護施設「ひのたに園」）
10 月号 (No.400)	特集：「寄付」のススメ～見えない相手を想像し応援する～ 巻頭：～人の役に立つことは楽しいから～お年玉を費用にあてて手作り布マスクを寄付 滝本 妃さん（山梨大学教育学部附属中学校 2 年生）
12 月号 (No.401)	特集：Platform of Philanthropy について 巻頭：困難を抱える女性たちを救うプラットフォーム始動 村木 厚子 さん（一般社団法人若草プロジェクト代表呼びかけ人） シェルバ 英子さん（株式会社ファーストリテイリング）
2 月号 (No.402)	特集：SDGs 時代のお寺の役割 巻頭：お寺は存在自体が SDGs コミュニティの中心で人々の人生を支える存在になる 安永 雄玄さん（浄土真宗本願寺派築地本願寺 代表役員宗務長）

フィランソロピー始動 30 周年記念

『共感革命 ～フィランソロピーは進化する』 出版



当協会が、「健全な民主主義社会の創造」をミッションに、フィランソロピー推進を始めて、2021年3月で、丸30年を経ることを記念し、『共感革命 フィランソロピーは進化する』を編集・発行しました。

自然環境の劣化と、コロナ禍で様々な問題が噴出、顕在化するなかで、これからの新たな社会づくりのキーワードを「共感」と定め、共感を醸成する要因を、多様な視点から紐解いています。

【主な構成】

- ◎ 多様な分野の専門家へのインタビュー
- ◎ 当協会が主宰した、寄付をした人を顕彰する事業「まちかどのフィランソロピスト賞」受賞者のお話
- ◎ フィランソロピー研究・推進に関わる方々の知見

◀◀◀ 読者の声 ▶▶▶

インタビューをもとにされているので、読み手が各先生のお話を直に聞いている感じが持て、ごく自然に話が入ってきます。「あくまで、どう思うのかは話を聞いた後の自分なのだ」、という頭の中の作業がナチュラルにできる良い構成ではないかと思います。さて、我々のような中小企業が何ができるのか、改めて考える機会をいただきました。

このコロナの時代の混迷を、その表面的な騒擾にとらわれるのではなく、本質的な原点や古典、あるいは全く別の視点を与えながら、宇宙的な深く多面的な考察が溢れています。陰鬱なコロナの日々、見失った方向性がどの論者からも放射されていて、新鮮にして、とてもワクワクする読書体験でした。

タイトルも素敵ですが、中身もとても豊かで学ぶところが多いだけでなく、何より切り口が多彩、かつユニークでとても楽しみながら読ませていただきました。フィランソロピーを生き物の原点にまで遡って考えるという視点はとても新鮮でした。

企業であれ個人であれ、社会をより良いものにしようという思いを持って行動する人がいなければ、本当の意味でサステナブルな社会は実現できないのであって、その根底には、まさに共感力が必要だと思っています。

日本は寄付後進国のように言われることが多いですが、欧米式ではない独自の寄付文化があったことにも目から鱗が落ちました。

帯にある「慈善から課題解決へ、そして、新たな価値創造へ」。素晴らしいメッセージだと思いました。

研修事業

定例セミナー



主に企業の CSR・社会貢献担当者を対象に、SDGs や ESG などさまざまなテーマで、各分野で活躍する学術研究者や先進事例を有する企業担当者を講師に迎え、講師や参加者とのネットワーキングの機会にも。13 回開催し、のべ 356 名が参加しました。
(8 月を除き毎月オンライン開催)

開催回・開催日	テーマ／講師
第 367 回 2020.5.15	CSR 基礎講座Ⅰ「SDGs 経営時代の CSR とは」 ＜講師＞ 関 正雄氏（明治大学経営学部 特任教授、損害保険ジャパン株式会社 CSR 室 シニアアドバイザー）
第 368 回 2020.5.27	CSR 基礎講座Ⅱ「CSR 担当者としての留意点 ABC」 ＜講師＞ 相良 有希子氏（阪急阪神ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 課長） 川島 裕子氏（大日本印刷株式会社 CSR・環境部 ビジネス企画推進グループ）
第 369 回 2020.6.4	CSR 基礎講座Ⅲ「社員ボランティアが望む CSR 担当者像」 ＜講師＞ 山崎 直子氏（UBS 証券株式会社 ウェルス・マネジメント本部 東京第一営業本部 部長）
第 370 回 2020.6.29	CSR 基礎講座Ⅳ「NPO/ 行政とのパートナーシップで、ESG・SDGs への取り組みを進めるために」 ＜講師＞ 川北 秀人氏（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）
第 371 回 2020.7.15	CSR 基礎講座Ⅴ「新たなステージを迎える ESG 投資と SDGs ～企業にとっての意義～」 ＜講師＞ 荒井 勝氏（NPO 法人日本サステナブル投資フォーラム 会長）
第 372 回 2020.7.28	「マッチングギフト・アンケート報告～導入企業の取り組みに学ぶ～」 ＜講師＞ 前田 淳氏（キューピー株式会社 広報・グループコミュニケーション室 社会・食育チーム 担当課長） 櫻井 真理子氏（株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室 CSV 推進グループ） 藤田 晋太郎氏（ロート製薬株式会社 広報 CSV 推進部 ESH 地域連携推進室 室長）
第 373 回 2020.9.23	「企画実現への道程～企業の事例に学ぶ～」 ＜講師＞ 楠田 倫子氏（日本ロレアル株式会社 バイス プレジデント コーポレートコミュニケーション本部長） 藤内 省吾氏（日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 渉外企画室 次長）
第 374 回 2020.10.15	「共感資本主義を求めて～アダム・スミスに学ぶ～」 ＜講師＞ 望目 卓生氏（大阪大学総長補佐、社会ソリューションイニシアティブ長 大学院経済学研究科教授）
第 375 回 2020.11.17	「統合報告書に学ぶ～価値創造ストーリーの「見える化」の課題～」 ＜講師＞ 能勢 恵美氏（MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 広報・IR 部 課長） 内田 晴子氏（麒麟ホールディングス株式会社 CSV 戦略部 主務） 丹野 直純氏（麒麟ホールディングス株式会社 CSV 戦略部 主務） 川北 秀人氏（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者）
第 376 回 2020.12.18	「社員ボランティア活動を支えるしくみづくり～社員も企業も成長する機会を絶やさない～」 ＜講師＞ 荻原 さや氏（サントリーホールディングス株式会社 コーポレートサステナビリティ推進本部 コーポレートブランド戦略部） 江草 未由紀氏（住友商事株式会社 サステナビリティ推進部 社会貢献チーム 100SEED プログラムリーダー）
第 377 回 2021.1.19	「日本列島型のサーキュラーエコノミーとは？～日本の歴史・風土・文化から俯瞰して考える～」 ＜講師＞ 伊藤 宏一氏（千葉商科大学 人間社会学部 教授）
第 378 回 2021.2.17	「社員ボランティア活動を支えるしくみづくり 第 2 弾 実効性を高めるためのワークショップ」 ＜講師＞ 前田 考歩氏（プロジェクトエディター）
第 379 回 2021.3.19	「今後の東北復興支援と東北の未来について考える～3 社の新たな取り組み事例を参考に～」 ＜講師＞ 佐藤 彌右衛門氏（会津電力株式会社 取締役会長） 箕輪 憲良氏（ソフトバンク株式会社 CSR 本部 CSR 部 環境・チャリティ課 課長） 野口 功一氏（PwC コンサルティング合同会社 常務執行役 パートナー）

企業による『NPO 緊急支援に向けたニーズ学習会』

新型コロナウイルス感染拡大で社会的課題がさらに深刻化するなか、企業の方々とともに NPO のリアルな話を聞き、課題解決に向け、どのような支援ができるかを考えるオンライン学習会を開催しました。

『社会課題の真実を聞く』10回シリーズ

2020年5月19日

【第1回】『NPO 法人キープ・ママ・スマイリング』代表 光原 ゆき氏
入院中の子どものために小児病棟に泊り込む家族を「食」で支援。



2020年5月22日

【第2回】『NPO 法人ぐるすあるは』代表 北野 陽子氏
親が精神障がいをかかえている子どもを応援し、サイト「子ども情報ステーション」を運営。

2020年5月29日

【第3回】『NPO 法人アクション』代表 横田 宗氏
1994年よりフィリピンで養護施設、盲・ろう学校の子どもたちやストリートチルドレンを支援。

2020年6月5日

【第4回】『一般社団法人つくろい東京ファンド』代表理事 稲葉 剛氏
生活困窮者の支援活動で、日本におけるハウジングファーストのモデルをつくる。

2020年6月10日

【第5回】『認定NPO 法人3keys (スリーキーズ)』代表理事 森山 誓恵氏
10代向け悩み相談サイト Mex (ミクス) で子どもたちと支援機関をつなぐ。

2020年6月19日

【第6回】『NPO 法人こどもソーシャルワークセンター』理事長 幸重 忠孝氏
滋賀県大津市で、困窮家庭の小中学生の居場所づくりの活動を展開。

2020年6月26日

【第7回】『社会福祉法人文京区社会福祉協議会』地域福祉推進係 地域連携ステーション係長 浦田 愛氏
コーディネーターとして、地域の居場所「こまじいのうち」や学習支援「てらまっち」の立上げに携わる。

2020年7月9日

【第8回】『一般社団法人全国食支援活動協力会』専務理事 平野 覚治氏
“食”で支え合う活動の連絡会として、子どもや多様な世代が参加する食の居場所づくりに取り組む。

2020年7月20日

【第9回】『特定非営利活動法人 Chance For All』代表理事 中山 勇魚氏
補助金 0 の民間の非営利学童保育施設の運営や、奨学金制度を運用。

2020年8月5日

【第10回】『特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター』理事長 小林 米幸氏
外国人に日本の医療情報の提供、日本人医療従事者に外国人の医療情報提供、診察時の無料電話通訳。

企業の CSR 支援

社会貢献活動として
企業の従業員が参加する
社会貢献プログラムを
提供しています。



(写真：サントリーホールディングス株式会社 在宅ボランティアの例)
ホームレス炊き出しで配布するお弁当に添えたメッセージ

従業員のボランティア・マッチングプログラム

従業員のNPOへのボランティア参加を支援します。プログラム企画、受け入れ団体の紹介および調整、事前・事後研修、運営協力などを行ないます。

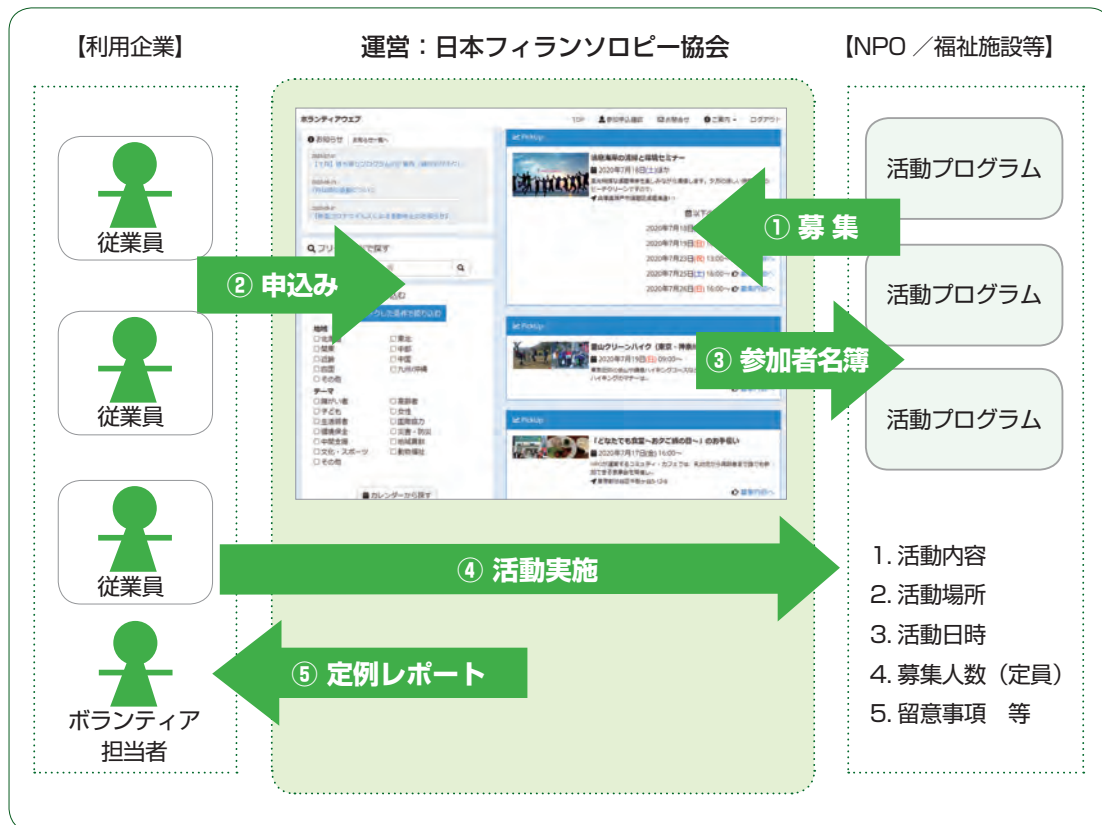


詳細はこちら

(1) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」

当協会独自の ボランティア・マッチングサイトです。従業員はウェブサイトから多様なボランティアプログラムを選び、直接申し込むことができます。2020 年度の参加人数はのべ 1,879 名。

「ボランティアウェブ」の利用イメージ



新型コロナウイルス感染拡大のなかで、 在宅ボランティアマッチングサイトを開設



コロナ禍でボランティア活動が縮小されているため、在宅でもできるプログラムを紹介する在宅ボランティアマッチングサイトを立ち上げ、ボランティアウェブの一環として推進しています。

【内容例】

- ・ ホームページのリニューアルにおけるアドバイスや作業
- ・ こども食堂利用者向けの予約フォームの作成、広報ポスター作成
- ・ 炊き出し利用者へのお手紙書き 等

ボランティアウェブの 利用企業 (2020 年度)

- サントリーホールディングス株式会社
- 株式会社ジェーシービー
- 日本たばこ産業株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
- 株式会社 LIFULL

50 音順

★利用企業からコメントをいただきました！

「地域のボランティア・市民活動情報を提供してほしい」との社員からの要望を受け、2020 年からボランティアウェブの利用を開始しました。

現在はコロナ禍でも在宅で取り組める活動を中心に紹介し、オンラインでの学習支援や、NPO の事務局業務のサポート等に社員が参加しています。当社には NPO/NGO への助成プログラムがあり、全国の助成先の活動を社員に紹介するツールとしても活用していきたいです。今後もボランティアウェブを通じて社員と地域社会をつなぎ、より多くの社員の社会参加促進を目指してまいります。



パナソニック株式会社 CSR・社会文化部
事業推進課 社会連携・社員参画係

主幹・係長	東郷 琴子さん	(上段左)
主務	歌川 聖彦さん	(上段右)
主務	若原 嘉鶴人さん	(下段左)
主務	細村 綾子さん	(下段右)

(2) 個別企業向けボランティアのコーディネート

個別の企業向けに、ニーズに沿ったボランティアプログラムの企画や実施の支援を行ないます。

■ アクセンチュア株式会社

在宅勤務でも行なえるオンラインのボランティアプログラムを提案し、開催を支援しました。

★軍手ぬいぐるみづくり

東ティモールの農村部に暮らす子どもたちに、軍手を活用したぬいぐるみを96個製作しました。



特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会

★雑巾づくり

水害被災地で活用する雑巾を165枚製作しました。



認定 NPO 法人 グッドネーバース・ジャパン

Trial 企画

個別企業向け「在宅ボランティアマッチングサイト」の公開

2020年6月1日から7月31日までの期間、企業のCSR担当者向けに、コロナ禍で従業員が自宅からでも参加できるボランティア情報専用のマッチングサイトを公開。CSR担当者43名に利用いただき、誰でも気軽に参加できるものからスキルを活かしたものまで、14件の従業員ボランティアのマッチングにつながりました。

企業の担当者からの声；

「普段ボランティアになかなか参加できない社員の参加が増えた」

「コロナ禍で自社の方針と合致したボランティア活動を紹介いただき、とても嬉しい」

ボランティアを募集した NPO からの声；

「提案したプログラムをすべてマッチングしていただきましたが、これほど在宅ボランティアの需要があるとは思いませんでした」

■ アステラス製薬株式会社

実施した活動：

「食品提供の支援とお手紙書き」

認定 NPO 法人グッドネーバース・ジャパンによる『ひとり親家庭のフードバンク「グッドごはん」』での従業員ボランティア。



従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」

企業や個人の寄付を非営利団体につなげたり、個人への奨学金として給付しています。

(1) 非営利団体への寄付

2020 年度は 15 社が利用し、のべ 127 の非営利団体に寄付をしました。

総額 115,656,133 円

※寄付先については、資料編 p.26 ～ 27 をご参照ください。

フィランソロピーバンクの仕組み



★利用企業からコメントをいただきました！



当社は 2007 年に従業員募金制度を開始し、社員の身近な社会貢献活動を中心に支援してきました。昨今の SDGs の機運を反映し、2020 年より NPO/ NGO 等が行う社会課題解決の活動支援を中心とした制度にリニューアルしました。

日本フィランソロピー協会には、適切なアドバイスによるスムーズな立上げ、及び種々ご協力をいただきました。今後も従業員とのコミュニケーションを大切にしながら、社内外に愛される制度に盛り上げていきたいと思ひます。

株式会社ブリヂストン BSJP CSR・社会貢献推進課 植木 久美さん

フィランソロピーバンク利用企業

アメリカン・エクスプレス・ インターナショナル・ インコーポレイテッド	熊本地震の被災者支援のため、ギフトカードの売上げに応じた寄付を実施。寄付先 1 団体。
株式会社ジェーシービー	『「5」のつく日。JCB で復興支援』を通じていただいた寄付を、2020 年度（第 10 回）は、東日本大震災復興支援、令和 2 年 7 月豪雨災害復興支援のために活動する 23 団体に配布。
東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患儿支援団体、認知症啓発団体の 3 団体に寄付。
東京海上日動 火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の実施。8 団体に寄付。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金の寄付を担当。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。10 団体に決定。
日本ロレアル株式会社	経済的に困難な女性を支援する NPO へ、従業員の募金による寄付。4 団体への寄付と相当額の商品を寄贈。
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、東日本大震災遺児奨学基金と全国 10 ヶ所の重度心身障がい者施設に寄付。
Fidelity Asia Pacific Foundation	NPO の基盤整備を目的とした寄付プログラムで、4 団体に寄付金を配布。
株式会社ブリヂストン	ブリヂストンのグローバル CSR 体系「Our Way to Serve」の 3 つの重点領域「Mobility（モビリティ）」、「People（一人ひとりの生活）」、「Environment（環境）」に該当し、SDGs の達成などに向けた社会課題の解決に取り組む団体・事業に、同社の従業員募金制度である BSmile 募金を通じ助成する。2 団体に助成決定。
株式会社三井住友銀行	社員募金および企業のマッチング寄付を、環境・コミュニティ・次世代の 3 分野で活動する 15 団体、および社員が継続的にボランティアをする 5 団体に配布。
株式会社三井住友 フィナンシャルグループ	社員募金および企業のマッチング寄付を、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けた人々への支援をする 5 団体に配布。
明治安田生命保険相互会社	「愛と平和のチャリティー・コンサート 2019」で集めた募金の寄付先として、東北 3 県で次世代育成の分野で活動する 6 団体に寄付金を配布。また、従業員からの募金を原資とする社会貢献活動基金を通じ、児童・障がい者・高齢者・被災地の支援、環境保全等を行なう 10 団体に寄付金を配布。

株式会社ゆうちょ銀行	紙使用量削減につながるサービスを利用した顧客の数に応じ寄付金を拠出するプログラム。環境分野において住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体に寄付金を配布。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、ドメスティックバイオレンスを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。11 団体に寄付。

株式会社ゆうちょ銀行寄付プログラム 「ゆうちょ エコ・コミュニケーション」の寄付先より



特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド
陸生昆虫調査



特定非営利活動法人 おおい環境保全フォーラム
海岸清掃活動

(2) 奨学金プログラム（個人向け）

■ 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

2016 年より、同社では、社会貢献活動の一環として「遺児への教育・養育支援」を実施し、がんなどの疾病により保護者を亡くした子どもたちのための基金を設立。創立 20 周年記念「東京海上日動あんしん生命 奨学金制度」および「東京海上日動あんしん生命 幼児教育支援制度」の公募、審査、給付金の配布を含む運営を支援しています。

★ 奨学金制度（給付型）

- 対象：疾病により保護者を失い、大学等への進学に経済的支援を必要とする方（年間 30 万円）
- ・ 2020 年度は、前年度までに給付が決まった奨学生 184 名に、計 5,520 万円給付。
 - ・ 2020 年 7 月より募集を開始した 2021 年度奨学生 60 名内定。

★ 幼児教育支援制度

- 対象：未就学の遺児および一定の年齢で、経済的支援を必要とするお子さまを養育する方
- 支援内容（毎年 30 名募集）
- ・ 株式会社ベネッセコーポレーションの「こどもちゃれんじ」を一定期間無償で提供。
 - ・ 教材提供期間中、進級の際「進級お祝い金」として年間 3 万円を給付
 - ・ 進学前のランドセル寄贈
 - ・ 進学お祝い金 3 万円贈呈
 - ・ 2021 年度 3 名決定。

個別企業の社会貢献活動支援

■ 東日本大震災復興支援

(1) 「サントリー東北サンさんプロジェクト」 チャレンジド・スポーツ支援事業

東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2014年9月から、チャレンジド・アスリートの支援を実施。東北3県（岩手・宮城・福島）を対象に、各県の行政担当者や障がい者スポーツ協会からのニーズの把握、アスリートや競技団体とのネットワーク構築を担い、各プロジェクトの発展に努めています。

① 第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

2020年末の終了予定が、コロナウイルス感染拡大のため奨励金の活用期間を2021年末までに延長。それによる受給団体・個人へのフォローを実施。

② 「チャレンジド・スポーツアカデミー」 ～アスリート・ビジット～

チャレンジド・スポーツに対する子どもたちの理解を深めるため、チャレンジド・アスリートなどが3県の学校を訪問し、講演や車椅子バスケットボール体験会などを実施。



平第三中学校の体験会

開催日	実施会場	生徒数
2020年11月13日	福島県いわき市立平第三中学校※	199名
2020年11月25日	福島県矢祭町立矢祭小学校	25名

※競技用車いすの貸し出しと運営サポートを実施

③ 「チャレンジド・スポーツ育成サポート」

チャレンジド・スポーツ育成のため、基盤強化・環境整備などを支援。



岩手での教室の様子

車椅子導入教室

開催日	実施会場	生徒数	講師
2020年8月8日、9日	ふれあいランド岩手	10名	橋本 大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ指導者)
2021年3月6日	宮城県多賀城市総合体育館	12名	

(2) みらいチャレンジプログラム

サントリーグループの「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021年2月より開始、5月まで応募を受け付け、岩手県、宮城県、福島県の地域の再興を目指して新たな活動を立ち上げようとする個人・団体の活動を奨励金という形で支援します。

実施期間 : 3年間(2023年まで毎年実施)
給付総額予定: 年間3,000万円



詳細はこちら

■ アステラス製薬株式会社

患者会の安定的・持続的な組織づくりができる人材を育成することを目的とした「患者会 次世代リーダー育成のための Leadership Training Program」の企画・開発。

■ クラシエホールディングス株式会社

従業員募金の寄付先8団体を推薦。

■ 大和ハウス工業株式会社「エンドレス募金」

従業員寄付プログラム「エンドレス募金」の寄付先8団体を推薦。

■ 東京ガス株式会社「森里海つなぐプロジェクト」

2017年度より森、里山、海をつなぐ環境社会貢献活動「森里海つなぐプロジェクト」の実施につき、有識者を含む運営委員会を設置しプロジェクトを推進する。「森」「里」「海」で活躍するNPO法人等の環境保全活動を支援。顧客のポイント寄付と同社の拠出金による寄付金プログラムで6団体に寄付。2020年度はコロナ禍のために「森」「里」の活動を中止し、「海」アマモ場の再生活動を2回実施。

■ プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社

オンラインセミナー登壇NPO4団体を推薦。

企業からNPOへの物品寄贈「あげます・もらいます」

企業から物品などの提供を受け、必要とするNPOへ橋渡しする「あげます・もらいます」事業を行っています。2020年度は、10社からの提供品を53団体に寄贈しました。

2020年度寄贈企業と物品の例

企業	寄贈物品
株式会社 I Dホールディングス	お菓子
株式会社 J-オイルミルズ	自社商品
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	スクラブ
ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	ボールペン・ノートパッド
株式会社阪急阪神ホテルズ	スチームコンベクション
富士電機株式会社	CD
三菱地所株式会社	クリアファイル



自社商品
株式会社 J-オイルミルズ



ボールペン
ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ
ヤンセンファーマ株式会社



クリアファイル
三菱地所株式会社

助成支援

■ 田辺三菱製薬株式会社「手のひらパートナープログラム」

難病の患者、家族の生活の質向上を目的にした助成プログラムの設計・公募・審査を含む運営を支援。
第9期（2020年度）は14団体に助成。新型コロナウイルス緊急支援寄付も実施。

■ 日本たばこ産業株式会社「SDGs 貢献プロジェクト」

格差是正・災害支援・環境保全の3分野において、国内で実施する事業を対象に助成をするプロジェクトの外部事務局として、書類審査および運営支援を実施。

調査・報告書

企業と非営利団体への社会貢献活動緊急アンケート調査

新型コロナウイルス感染拡大に伴う企業の社会貢献活動および非営利団体の活動への影響について明らかにし、各セクターの今後の取り組みや具体的な支援活動につなげるための緊急アンケートを実施。その結果をホームページや機関誌にて報告しました。

▶ 調査概要

調査方法：ウェブでの自記入式アンケート

調査期間：2020年4月16日（木）～4月28日（火）

調査対象：①企業から支援を受けたことがある、または協働事業を実施したことがある団体

②非営利団体への寄付・ボランティア、社会貢献活動などを行なったことのある企業

有効回答数：①非営利団体 334 団体 ②企業 91 社

協力：多摩大学総合研究所

新型コロナウイルス【特設ページ】

■ 緊急アンケート結果

◎詳細版 ◎速報版

■ 支援の動き

◎企業の取り組みについて

◎非営利団体の取り組みについて

■ みんなで応援！ ボランティア情報

◎物資支援（「贈る」ボラ）：物資の寄贈を求めている団体を紹介

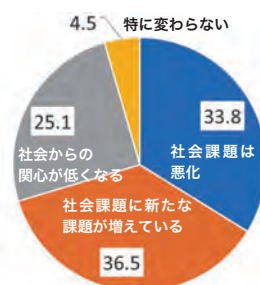
◎購入支援（「買う」ボラ）：商品等の購入支援を求めている団体を紹介



詳細はこちら

結果より一部抜粋「新型コロナウイルス感染拡大により、 取り組んでいる社会課題及び支援者への影響は？」

新型コロナウイルス感染拡大により、ほぼすべての非営利団体の活動に影響が出ています。非営利団体で取り組んでいる社会課題や支援している対象者への影響については、「その社会課題は悪化している」（33.8%）、「その社会課題には新たな課題が増えている」（36.5%）、「社会からの関心が低くなる」（25.1%）という認識があり、「特に変わらない」は4・5%でした。



顕彰プログラム

第 18 回「企業フィランソロピー大賞」



贈呈式：2021 年 2 月 19 日 学士会館（東京都千代田区）にて



詳細はこちら

2003 年創設の「企業フィランソロピー大賞」は、社会課題のために、自社の経営資源（人材・ノウハウ・技術・情報など）を有機的・持続的に活用した企業の社会貢献活動を顕彰しています。規模に関係なく地域を越えて、さまざまな企業の CSR 経営のヒントになることを願い、優れた企業を広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。

企業フィランソロピー大賞

エーザイ株式会社（東京都文京区）



理事・知創部長 加藤 慶悟 氏とともに

城南信用金庫（東京都品川区）



理事長 川本 恭治 氏とともに

企業フィランソロピー賞（企業名 50 音順）

【安心を届ける手のひら賞】	株式会社大垣共立銀行	（岐阜県大垣市）
【資源の循環賞】	KDDI 株式会社	（東京都千代田区）
【森林の守り人賞】	コクヨ株式会社	（大阪市）
【想いをつなぐスイーツ賞】	株式会社シュゼット・ホールディングス	（兵庫県西宮市）
【海を渡る 100 万足賞】	株式会社そごう・西武	（東京都千代田区）
【防災の見張り番賞】	TOA 株式会社	（兵庫県神戸市）

選考委員	委員長 國部 克彦	神戸大学副学長／経営学研究科教授	
	井手 明子	住友商事株式会社 社外取締役	
	佐藤 雄二郎	株式会社共同通信社 取締役副会長	
	渋澤 健	コモンズ投信株式会社 取締役会長	（敬称略・肩書は贈呈式時点のもの）

共生社会 づくり

社会の誰もが、かけがえのない存在として尊重される
「居場所と出番のある地域」づくりを目指します。

福島県郡山市からの受託事業 郡山市農福連携推進モデル構築事業

当協会は、2019年8月から福島県郡山市からの委託を受け、農福連携推進モデルの構築に取り組んでいます。障がい者、ニートや引きこもりの人など、さまざまな理由で働きにくさを抱える人に対して、農業を通じて就労機会を提供し、ひいては地域住民や消費者の参画によって農業の再生や地域創生に寄与することを目指します。



詳細はこちら

2020年度事業（2年目） 期間：2020年4月～2021年3月 / 受託金額：10,593,000円

活動実績：

● 農家と福祉団体との作業マッチング

参加農家：3農家
参加候補農家：7農家
参加福祉団体：障がい者支援団体9団体
ニート・引きこもり支援団体1団体
取り扱い作物：ピーマン、春菊、スナップエンドウ、
ワイン用ブドウ、カブ、ニンジンなど



ピーマン収穫作業 希望ファーム圃場にて

● 農家、福祉団体へのサポート強化による農福連携促進

- ・農作業分解による作業効率化実験の実施
- ・電子「農作業日報」テスト利用開始
- ・市民サポーター育成カリキュラム開発開始



ワイン用ブドウの紙笠かけ作業 菅野ファームにて

● 先進事例視察

日程：2020年10月28日（水）～29日（木）
視察先：兵庫県立淡路景観園芸学校
目的：農作業分解に有効なマニュアル・ガイドブックづくり
の参考とするため、農家、コーディネート団体と
ともに視察。

● 啓発活動「ふくしまで農福連携を盛り上げよう！」

応援講演会」開催

日時：2021年3月9日（火）
会場：郡山市中央公民館
参加者：108名（会場参加49名、オンライン参加59名）
講演者：① 吉田 行郷氏（農林水産政策研究所次長）
「これからの農福連携の展望と可能性」
② 村木 厚子氏（元厚生労働事務次官 津田塾大学客員教授）
「みんなが活躍できる共生社会を目指して」



「ふくしまで農福連携を盛り上げよう！ 応援講演会」

次世代 育成支援

中高生が社会課題を学び、募金活動・ボランティア活動を行なうプログラム。シティズンシップを獲得する社会貢献を体験し、地域社会でさまざまな人と関わるなかで、自己肯定感を高め、実社会での「生きる力」を育みます。

寄付・募金を核にしたシティズンシップ教育 チャリティー・ムービー・プロジェクト

2020年度は、コロナ禍で奮闘するNPOを応援すること、および、中高生への寄付育（※）を取り入れた、「中高生によるチャリティー・ムービー・プロジェクト-コロナに負けるな！NPO支援-」をオンラインで実施。NPOの現状を学び、70名（グループと個人による25チーム）が動画を制作、特設サイト等で寄付を呼び掛けました。 ※寄付・募金を通して社会貢献活動を体験するワークショップ型の教育プログラム

寄付額：2,134,441円



詳細はこちら

【参加者】

中学生・高校生：70名

（参加地域：宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、大阪府、広島県、福岡県、マレーシア）

プロジェクトアドバイザー：1名、企業ボランティア：7名、学生サポーター：4名

【寄付先NPO】

NPO 法人アスイク	（宮城県仙台市）
NPO 法人移動支援 Rera	（宮城県石巻市）
NPO 法人ポラリス	（宮城県山元町）
認定NPO 法人多摩草むらの会	（東京都多摩市）
認定NPO 法人日本クリニクラウン協会	（大阪市）

【プロジェクト実施期間】

2020年8月8日～2021年1月23日

【寄付金募集期間】

2020年11月9日～2021年1月18日

【協賛】

株式会社ジェーシービー
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ
株式会社ブリヂストン

【協力】

NECソリューションイノベータ株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ソフトバンク株式会社、株式会社電通アドギア
華為技術日本株式会社
東京経済大学藤井ゼミ（Project Based Learning）



最優秀賞

「みんなで応援！日本クリニクラウン協会！」
福島県いわき市立平第三中学校 2年生チーム

個人の 社会貢献活動 推進

一人ひとりの市民が社会をつくる一員として、
主体的に社会参加・社会貢献する
フィランソロピー社会の実現を目指して、
個人フィランソロピーを推進します。

Thanks Birthday & Happy Donation! 誕生日寄付

誕生日寄付とは

「与えられたいのちに感謝する日として、誕生日を少し違う発想で捉えなおし、
「子どもたちの今を支え、未来に希望をつなぐ」ための活動です。
誰にも平等にあるいのちを授かった日＝「誕生日」に、
いのちに感謝し、寄付という形で表す習慣を拡げたいと考えます。



詳細はこちら

第2期は、困難を抱える当事者である子どもたちのみならず、
その家族やきょうだいを応援すること＝「支える人を支える」をカテゴリとしました。

第2期 いただいた寄付金額合計：4,969,632 円（寄付者人数 181 名）

	① 生きるを支える	： 3,296,354 円
[カテゴリ別寄付金額]	② 育ちを支える	： 876,129 円
	③ 支える人を支える	： 797,149 円

※寄付金の配布は 2021 年 4 月末

【第2期の寄付先について】

①生きるを支える

虐待や家庭崩壊などにより、
帰る場所を失い、彷徨う子
どもたちのいのちを守り、
その子どもたちが社会で自
立し、安心して暮らしてい
けるように、寄り添い・支
える活動



社会福祉法人 カリヨン子どもセンター
社会福祉法人
子供の家 アフターケア相談所ゆずりは
一般社団法人 若草プロジェクト

②育ちを支える

貧困、いじめ、病気などで
長期欠席（不登校等）せざ
るを得ない子どもたち、充
分な日本語指導が受けられ
ず、困難に直面する海外に
ルーツを持つ子どもたちへ
学びの場や居場所を届け、
応援する活動



特定非営利活動法人 TEDIC
認定特定非営利活動法人 ポケットサポート
特定非営利活動法人 いるか

③支える人を支える

精神障がいやこころの不調
などを抱えた親をもつ子ど
もや、障がい病児の「きよ
うだい」など、困難を抱え
る家族と暮らし、我慢を強
いられている兄弟姉妹など
家族を応援する活動



一般社団法人
北海道こどもホスピスプロジェクト
特定非営利活動法人 ぶるすあるは
特定非営利活動法人 しぶたね

【2020 年度誕生日寄付のさまざまな展開】

誕生日寄付 with Flowers

「花育（＝はないく）」を展開する有限会社椎名洋ラン園と協働し、お花を買って寄付をするコーズリレーテッドマーケティング「誕生日寄付 with Flowers」を 10 月に開始しました。

企業、お店、個人など、様々なジャンルや世代の方々が、お花を「飾る」あるいは「贈る」ことで、困難を抱える子どもたちを「誕生日寄付」で応援する、そんな輪が広がることを目指します。



SDGs トレイン 2020

2020 年 9 月から 1 年間、「誕生日寄付」のポスターが掲示された阪急・阪神・東急が協働するラッピング列車*、「SDGs トレイン」が運行されました。多くの方に「誕生日寄付」を知っていただき、応援の輪が広がることを願っています。

(* 阪急電鉄〈神戸線・宝塚線・京都線〉、阪神電車〈本線・阪神なんば線〉、東急電鉄〈東横線・田園都市線・世田谷線〉)



【「誕生日寄付」寄付者からのメッセージ】

- ★生まれてきた環境によりその後の人生が大きく違ってくという現実。子どもには未来に希望を持って生きて欲しいと思います。ささやかですが誕生日に両親に感謝し寄付させていただきます。
- ★自分の誕生日に誰かを応援できることを嬉しく思います。この日を迎えられたことに感謝し、若者に幸あれ、とエールを送ります。
- ★コロナの影響で不安定な状況に置かれている方にお役立ていただければ幸いです。また寄付ができるように、私も頑張ります。
- ★幼い頃に父を亡くし、母も精神的に不安定だったため不安な日々を過ごしていました。あの頃の自分のような子どもたちが救われるよう、応援します。

SDGs 時代のソーシャルリーダーシップ研修

一般の人たちのボランティア参加を促進するための研修を実施。

社会課題を解決するために、地域の一員として何が出来るかを学び、周囲に働きかけ、伴走し続けることを「ソーシャルリーダーシップ」と定義し、社会課題のリアルを知ることを通じて、自分自身の関わり方を考えました。

公益財団法人 JKA 補助事業



詳細はこちら



プログラム

(1) 地域版「鎌倉トークセッション」

講師 : 株式会社 i-link-u 代表 (武士) 高野 朋也さん

特定非営利活動法人 ADDS 共同代表 (理事) 竹内 弓乃さん

認定特定非営利活動法人 Ocean's Love スクール事業統括責任者 伊藤 良師さん

共催 : かまくら駅前蔵書室

協力 : NPO アートとつながる鎌倉

開催日 : 2020 年 11 月 21 日

鎌倉参加者 : 23 名

会場 : 臨済宗円覚寺派 浄智寺 書院 (北鎌倉)

(2) オンライン版研修プログラム

開催日 : 2021 年 1 月 30 日、2 月 6 日、13 日、20 日、3 月 13 日

参加者 : 25 名

第 1 回 : 一般社団法人 kuriya 代表理事 海老原 周子さん (外国ルーツの子ども支援のリアル)

第 2 回 : 特定非営利活動法人 育て上げネット

若年支援事業マネージャー 井村 良英さん (若者支援のリアル)

第 3 回 : 特定非営利活動法人 西淀川子どもセンター 前代表 西川 日奈子さん (子ども支援のリアル)

第 4 回 : 特定非営利活動法人 Homedoor 代表理事 川口 加奈さん (生活困窮者支援のリアル)

特定非営利活動法人 抱樸 総務部長 江田 初穂さん (同上)

第 5 回 : 「ボランティア活動に活かすソーシャルリーダーシップ」

合同会社 NOKs Labo 代表 山崎 直子さん

<特別編>

特定非営利活動法人 アクション 代表 横田 宗さん **開催日** : 2021 年 2 月 27 日

(好奇心と恩返しから始まるソーシャルリーダーシップ)

元引きこもり当事者の B さん / 井村 良英さん **開催日** : 2021 年 3 月 6 日

(元引きこもり当事者の体験談とインタビュー)

参加者の感想 (抜粋)

講師の話はかなり刺激になりました。働きながら、ボランティア活動もこなしている方がいらっしゃることに刺激を受けました。自分にあった形で何か見つけていきたいと思います。

社内研修等で見聞きする SDGs は少し小難しい感じがして、なかなか自分事として捉えられていないところがある。身近な問題として、会社員の立場だけではなく、一人の人間として何か取り組めることを探したいと思います。

久しぶりに人と対話し、深く学ぶことができました。こんな感覚は、学生時代以来かもしれません。ここからがスタート。まずは、自分自身で社会の網の目の一本の糸を目指し、できることを細く長くやってみます。

フィランソロピー名刺

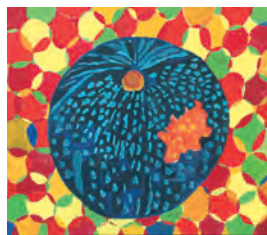
障がいや難病などハンディキャップのあるアーティストの作品を利用した名刺を制作・販売。

名刺の受注で得た一部収益を、アーティストや所属団体に還元。名刺の印刷も福祉作業施設に委託し、障がい者の可能性と経済的自立の支援につなげています。

2020 年度の制作件数は 115 件（コロナ禍で昨年比 261 件減）。ウェブサイトの「作品カタログ」から作品を選び、申込みます。



作品：「かえる 水色」TAKUO 作（名刺）



上段左より、
ビーグル（佐々木 卓也作）
コザクラインコのよもぎちゃん（石橋 みゆき作）
ケイトウの花（田崎 飛鳥作）
世界遺産記念・上五島（樽井 慎一郎作）

下段左より、
チューリップと富士山（伊藤 大貴作）
カボチャ（松元 竣資作）

★利用者からコメントをいただきました！

フィランソロピー名刺は、以前お世話になった株式会社ハイパーギア本田社長が利用されていた同取組に共感を得て、会社設立当初から小さな会社でも社会貢献をしていこうと活用させて頂いています。初めてのお客様も名刺交換をした際に興味を持っていただき、商談がスムーズに進むことが多く、更に会社のイメージアップにも貢献しています。

今後も名刺交換をすることで、作者の活躍の場が少しでも広がることを望みます。

デジタルファクトリー株式会社 会長 阿井 辰哉さん



寄付先 NPO（2020 年度 実績）

出捐企業	寄付先団体	出捐企業	寄付先団体
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル Inc	公益財団法人 熊本YMCA	東京ガス株式会社	特定非営利活動法人 秩父百年の森 特定非営利活動法人 多摩川センター 特定非営利活動法人 エコロジー夢企画 特定非営利活動法人 ふるさとの森づくりセンター 特定非営利活動法人 とどろき水辺 特定非営利活動法人 おおつきエコビレッジ
株式会社ジェーシービー	特定非営利活動法人 バクト 一般社団法人 トナリノ 特定非営利活動法人 吉里吉里国 特定非営利活動法人 アスイク 一般社団法人 マザー・ウイング 公益社団法人 こどもみらい研究所 一般社団法人 はまのね 一般社団法人 イシノマキ・ファーム 一般社団法人 日本カーシェアリング協会 一般社団法人 チーム王冠 一般社団法人 石巻じちれん 一般社団法人 こころスマイルプロジェクト 特定非営利活動法人 リアスの森応援隊 特定非営利活動法人 ビースジャム 特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島 特定非営利活動法人 しんせい 特定非営利活動法人 ザ・ビープル 特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター 一般社団法人 あすびと福島 特定非営利活動法人 難民を助ける会 一般社団法人 minor 特定非営利活動法人 バルビー （任意団体）アーキレスキュー人吉球磨	TOYO TIRE 株式会社	（任意団体）黒松内ぶなの森自然学校運営委員会 特定非営利活動法人 穴塚の自然と歴史の会 特定非営利活動法人 ハロハロ 特定非営利活動法人 ゆいツール開発工房（ラボ） （任意団体）タンザニア・ボレボレクラブ 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース 特定非営利活動法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会 （任意団体）環境学習サークルみえ 特定非営利活動法人 自然と緑 特定非営利活動法人 棚田 LOVER's
東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク 特定非営利活動法人 認知症フレンドシップクラブ 特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会	日本ロレアル株式会社	公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会 社会福祉法人 カリヨン子どもセンター 社会福祉法人 カメラア会母子生活支援施設ヒルズすえなが NPO 法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ
東京海上日動 火災保険株式会社	特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト 公益財団法人 日本自然環境保護協会 公益財団法人 あすのば 特定非営利活動法人 チャイルドライン支援センター 社会福祉法人 全国盲ろう者協会 一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟 特定非営利活動法人 ウォーターエイド・ジャパン 認定特定非営利活動法人 日本レスキュー協会	株式会社ファンケル	特定非営利活動法人 i Care ほっかいどう 特定非営利活動法人 ムーヴメント 一般社団法人 Burano 社会福祉法人 ロザリオの聖母会 社会福祉法人 訪問の家 社会福祉法人 ふれ愛名古屋 社会福祉法人 芳友 特定非営利活動法人 このゆびと一まれ 特定非営利活動法人 みらい予想図 一般社団法人 Kukurū 公益財団法人 みちのく未来基金
		Fidelity Asia Pacific Foundation	特定非営利活動法人 イーパーツ 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 にわたりの会 NPO 法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ
		株式会社ブリヂストン	特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所 特定非営利活動法人 キッズ未来プロジェクト

出捐企業	寄付先団体	出捐企業	寄付先団体
株式会社三井住友銀行	(テーマ選出) 特定非営利活動法人 シマフクロウ・エイド 特定非営利活動法人 寺子屋方文舎 特定非営利活動法人 全国女性会館協議会 特定非営利活動法人 イーパーツ 社会福祉法人 共生会 SHOWA 特定非営利活動法人 TENOHASI 特定非営利活動法人 ビーブルズ・ホープ・ジャパン 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 サンクチュアリエヌビーオー 特定非営利活動法人 アイキャン 特定非営利活動法人 児童虐待防止協会 NPO 法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動法人 岡山マインド「こころ」 NPO 法人 ニコちゃんの会 特定非営利活動法人 地球市民の会 (社員ボランティア先から選出) 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち 特定非営利活動法人 山の自然学クラブ 公益財団法人 東京シティ・バレエ団 公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO 特定非営利活動法人 聴覚障害教育支援大塚クラブ	株式会社ゆうちょ銀行	特定非営利活動法人 シマフクロウ・エイド 特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト 特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会 特定非営利活動法人 ふるさとの森づくりセンター 特定非営利活動法人 暮らし・つながる森里川海 特定非営利活動法人 新潟水辺の会 特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所 特定非営利活動法人 サンクチュアリエヌビーオー 特定非営利活動法人 加茂女 特定非営利活動法人 西中国山地自然史研究会 特定非営利活動法人 由良野の森 特定非営利活動法人 おおいた環境保全フォーラム 特定非営利活動法人 おきなわグリーンネットワーク
	株式会社三井住友 フィナンシャルグループ 特定非営利活動法人 レジリエンス 特定非営利活動法人 Chance For All 特定非営利活動法人 フェアスタートサポート 特定非営利活動法人 西成チャイルド・ケア・センター 特定非営利活動法人 ブレーンヒューマニティー		株式会社 LIFULL 特定非営利活動法人 ロージーベル (任意団体) さいたま・ウィメンズ・スペース 特定非営利活動法人 男女平等参画推進みなと 特定非営利活動法人 女のスペース・ながおか 特定非営利活動法人 POPOLO (任意団体) RAFIQ (在日難民との共生ネットワーク) 特定非営利活動法人 子どもセンターぬっく (任意団体) S・ぱ〜ぶるリボン 特定非営利活動法人 ハートスペース M 特定非営利活動法人 子どもシェルターみやざき 特定非営利活動法人 子どもシェルターおきなわ
明治安田生命保険相互会社	特定非営利活動法人 りょうぜん里山がっこう 特定非営利活動法人 未来図書館 一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校 特定非営利活動法人 チャイルドラインみやぎ 公益社団法人 こどもみらい研究所 特定非営利活動法人 いわき緊急サポートセンター 特定非営利活動法人 表皮水泡症友の会 DebRA Japan 一般社団法人 りぶらす 特定非営利活動法人 D-SHIP32 特定非営利活動法人 エコロジー夢企画 特定非営利活動法人 ハーフタイム (任意団体) Patch 特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター 一般社団法人 お互いさま・まびらぼ (任意団体) 宇和島市 NPO 団体 If 一般社団法人 福祉フォーラム in 別荘速見実行委員会	個人 1 名	(任意団体) お金で学ぶさんすう
			個人寄付 (任意団体) 福島に公立夜間中学をつくる会 特定非営利活動法人 大泉国際教育技術普及センター 一般社団法人 若草プロジェクト 社会福祉法人 カリヨン子どもセンター 特定非営利活動法人 青少年自立援助センター YSC グローバル・スクール 一般社団法人 岡山に夜間中学校つくる会 (誕生日寄付第 1 期分)

財務データ

貸借対照表 (2021年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	26,045,600	41,867,012	△ 15,821,412
普 通 預 金	25,189,475	41,080,305	△ 15,890,830
郵 便 貯 金	856,125	786,707	69,418
未 収 金	19,971,632	22,114,971	△ 2,143,339
未 収 消 費 税	487,600	0	487,600
前 払 費 用	2,122,729	3,585,086	△ 1,462,357
立 替 金	0	146,586	△ 146,586
仮 払 金	148,940	40,200	108,740
貯 蔵 品	459,192	281,636	177,556
流動資産合計	49,235,693	68,035,491	△ 18,799,798
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役 員 退 任 慰 労 引 当 資 産	15,325,000	14,875,000	450,000
職 員 退 職 給 付 引 当 資 産	5,248,000	4,095,200	1,152,800
受 取 寄 付 金 資 産	120,936,703	113,042,053	7,894,650
普 及 啓 発 事 業 等 積 立 資 金	35,349,789	42,600,033	△ 7,250,244
コ ロ ナ 経 営 安 定 化 資 金	13,096,494	0	13,096,494
特定資産合計	189,955,986	174,612,286	15,343,700
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	2	6	△ 4
什 器 備 品	219,005	97,117	121,888
ソ フ ト ウ ェ ア	4,451,675	3,693,523	758,152
電 話 加 入 権	4	4	0
その他固定資産合計	4,670,686	3,790,650	880,036
固定資産合計	194,626,672	178,402,936	16,223,736
資産合計	243,862,365	246,438,427	△ 2,576,062
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	8,433,269	5,009,683	3,423,586
前 受 金	205,950	234,075	△ 28,125
仮 受 金	0	640,000	△ 640,000
預 り 金	914,717	793,474	121,243
未 払 消 費 税 等	0	4,505,200	△ 4,505,200
賞 与 引 当 金	2,299,167	2,894,000	△ 594,833
流動負債合計	11,853,103	14,076,432	△ 2,223,329
2. 固定負債			
役 員 退 任 慰 労 引 当 金	15,325,000	14,875,000	450,000
職 員 退 職 給 付 引 当 金	5,248,000	4,095,200	1,152,800
固定負債合計	20,573,000	18,970,200	1,602,800
負債合計	32,426,103	33,046,632	△ 620,529
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	120,936,703	113,042,053	7,894,650
指定正味財産合計	120,936,703	113,042,053	7,894,650
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(120,936,703)	(113,042,053)	(7,894,650)
2. 一般正味財産	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
(うち基本財産への充当額)	()	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(48,446,283)	(42,600,033)	(5,846,250)
正味財産合計	211,436,262	213,391,795	△ 1,955,533
負債及び正味財産合計	243,862,365	246,438,427	△ 2,576,062

正味財産増減計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	19,684,000	23,702,000	△ 4,018,000
正会員受取会費	7,110,000	10,200,000	△ 3,090,000
取組職員受取会費	12,574,000	13,502,000	△ 928,000
事業収益	56,708,139	104,715,746	△ 48,007,607
1. 社会貢献啓発事業収益	228,475	258,475	△ 30,000
2. 社会貢献促進事業収益	55,695,159	103,228,920	△ 47,533,761
3. 共生社会創造事業収益	784,505	1,228,351	△ 443,846
受取補助金	2,817,549	18,092,652	△ 15,275,103
受取雑収入	194,037,406	280,110,036	△ 86,072,630
受取雑収入	2,349	3,117	△ 768
受取雑収入	2,349	2,617	△ 268
受取雑収入	0	500	△ 500
経常収益計	273,249,443	426,623,551	△ 153,374,108
(2) 経常費用			
事業費	271,867,307	389,816,424	△ 117,949,117
(公1 社会貢献啓発事業費)	17,488,357	10,911,022	6,577,335
(公2 社会貢献促進事業費)	245,531,948	369,258,030	△ 123,726,082
(公3 共生社会創造事業費)	6,258,905	8,452,496	△ 2,193,591
(公益共生通事業)	2,588,097	1,194,876	1,393,221
管理費	11,232,319	12,078,946	△ 846,627
経常費用計	283,099,626	401,895,370	△ 118,795,744
当期経常増減額	△ 9,850,183	24,728,181	△ 34,578,364
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,850,183	24,728,181	△ 34,578,364
一般正味財産期首残高	100,349,742	75,621,561	24,728,181
一般正味財産期末残高	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	0	0	0
受取寄付金	200,686,925	255,699,888	△ 55,012,963
一般正味財産へ振替	△ 192,792,275	△ 290,123,228	97,330,953
当期指定正味財産増減額	7,894,650	△ 34,423,340	42,317,990
指定正味財産期首残高	113,042,053	147,465,393	△ 34,423,340
指定正味財産期末残高	120,936,703	113,042,053	7,894,650
III 正味財産期末残高	211,436,262	213,391,795	△ 1,955,533

会員数／役員

会員数の推移

	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末
正会員（法人）	29	27	26	25	20
賛助会員（法人）	88	93	101	102	103
賛助会員（個人）	88	91	94	84	79

会員一覧は、ホームページでご覧いただけます。



役員・顧問

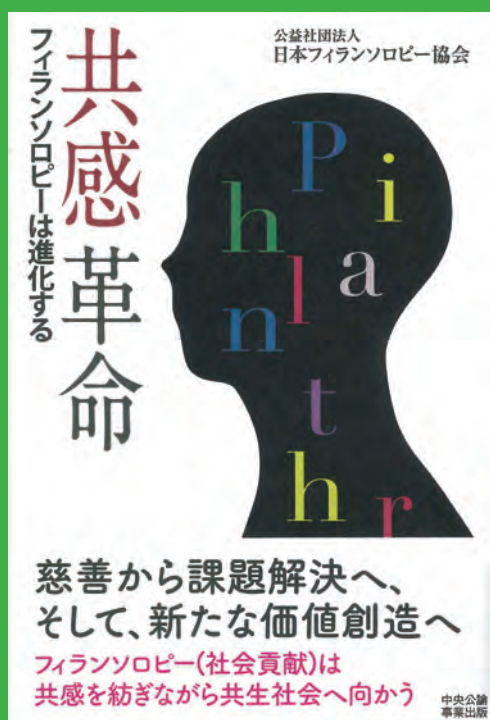
会長	浅野 史郎	元宮城県知事
副会長	田中 克人	一般社団法人心のふるさと創生会議 理事長
● 理事長	高橋 陽子	
● 常務理事	牛尾 和弘	前株式会社 J-オイルミルズ 顧問
理事	太田 達男	公益財団法人公益法人協会 会長
理事	倉光 恭三	特定行政書士 倉光法務事務所 代表
理事	河野 通和	株式会社ほぼ日 ほぼ日の学校長
理事	佐藤 雄二郎	株式会社共同通信社 顧問
理事	長島 剛	多摩大学 経営情報学部 教授
理事	永田 俊一	三菱 UFJ 信託銀行信託博物館 館長
理事	板東 久美子	日本司法支援センター 理事長
理事	藤原 作弥	エッセイスト／元日本銀行副総裁
理事	堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団 会長
理事	村木 厚子	津田塾大学客員教授／元厚生労働事務次官
理事	山崎 美貴子	東京ボランティア・市民活動センター所長
監事	奥川 貴弥	弁護士
監事	尾崎 輝郎	公認会計士
顧問	木全 ミツ	認定特定非営利活動法人 JKSK 女性の活力を社会の活力に 前会長・理事長
顧問	松岡 紀雄	神奈川大学 名誉教授

（●印は常勤、2021 年 7 月 1 日 現在）

フィランソロピー始動 30 周年記念事業

新刊発行のご案内

COVID-19 禍は、
経済成長至上主義、科学万能主義、物質至上主義からの脱却を求めて、
私たちに警告を発しました。そして、分かち合う心、“共感”が生まれました。
「共感をベースに新たな時代を拓き、
次世代に希望と夢の持てる地球を手渡したい」
との思いで、本書を発行しました。是非、ご一読ください！



『共感革命 フィランソロピーは進化する』

発行日：2021 年 3 月 31 日

発 行：公益社団法人日本フィランソロピー協会

制作・発売：中央公論事業出版

定 価：1,540 円（10% 税込）

2020 年度 ANNUAL REPORT

2021 年 8 月 1 日 発行

発 行：公益社団法人 日本フィランソロピー協会

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244

TEL：03-5205-7580

FAX：03-5205-7585

URL：<https://www.philanthropy.or.jp>

<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp/>

<https://twitter.com/JPNphilanthropy>



お問い合わせはこちらへ



(最寄駅)

● JR「東京駅」丸の内北口より徒歩 5 分

● 地下鉄「大手町駅」B3 出口直結

(東京メトロ 丸ノ内線／千代田線／東西線／半蔵門線、都営地下鉄 三田線)